

公益社団法人日本コンクリート工学会

倫理綱領

平成 23 年 4 月 1 日

コンクリート技術は、自然環境が厳しく、資源に乏しいわが国において、国土の保全と社会資本の整備・充実、生活の安全・安心・豊かさ・快適さを希求する人々の要請に対応しつつ進歩発達を続け、社会の発展に大きく貢献してきた。一方、近年は地球環境の持続可能性について世界的にその認識が高まる中で、コンクリート技術にも省エネルギー・省資源、長寿命化、環境調和といった観点を踏まえた社会基盤の構築を広く実現していくことが求められる。

日本コンクリート工学会は、このような時代認識に立ち、安全で豊かな人間生活と地球環境維持を共生させるコンクリートの科学的・技術的進歩の一層の追求が自らの使命と責任であることを自覚し、人類社会の利益と福祉に貢献する。